

平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本マイクロニクス

コード番号 6871 URL <http://www.mic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 正義

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 齋藤 太

TEL 0422-21-2665

四半期報告書提出予定日 平成26年5月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・報道関係向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	14,978	75.4	1,693	—	1,804	—	1,421	—
25年9月期第2四半期	8,539	△33.9	△26	—	△13	—	△30	—

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 2,717百万円 (332.6%) 25年9月期第2四半期 628百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年9月期第2四半期	74.22	71.95
25年9月期第2四半期	△1.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	32,550	—	17,177	—	—	49.2
25年9月期	29,321	—	13,943	—	—	44.3

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 15,999百万円 25年9月期 12,982百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	26,500	30.0	2,600	85.9	2,700	77.2	2,100	90.7	109.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 業績予想の修正につきましては、本日(平成26年5月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	20,012,658 株	25年9月期	20,012,658 株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	498,384 株	25年9月期	1,021,752 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	19,149,001 株	25年9月期2Q	18,991,026 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、本日(平成26年5月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は緩やかな回復傾向にありましたが、今後の先行きについては、米国の量的金融緩和縮小、欧州・新興国で懸念される政治的混乱や新興国の成長鈍化等から不透明な状況にあります。一方、日本経済は、政府の政策による円高是正等を背景に企業収益の改善や個人消費が増加する等、景気は回復基調で推移しました。

半導体市場においては、スマートフォンやタブレット端末向けの需要が堅調に推移しました。特にDRAMは、一部大手メモリーメーカーの供給問題により需給が引き締まったことや、新興国のローエンドスマートフォン向けの需要が旺盛だったこと等から生産は例年に比べて活発でした。また、微細化に向けた設備投資も積極的に進められました。

一方、FPD市場は、4K対応液晶テレビの投入に伴う新品種パネルの量産開始がありましたが、全般的にはテレビの販売不振から液晶大型パネルの生産調整が続き、設備投資は需要の不透明感が影響したため、限定的な投資が継続しました。

このような状況の下、当社グループは、事業構造改革を完結させ、“継続的収益を生む体質となる”ため、売上増加と利益確保、継続的原価低減、効果的投資の実行等に取組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高14,978百万円（前年同期比75.4%増）、営業利益1,693百万円（前年同期は26百万円の営業損失）、経常利益1,804百万円（前年同期は13百万円の経常損失）、四半期純利益1,421百万円（前年同期は30百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

プローブカード事業

プローブカードは、主にスマートフォンやタブレット端末向けアドバンスドプローブカードの需要が好調で高水準な受注・売上となりました。利益面では、年明け以降において費用のかかる開発案件や新規品がありましたが、全般的にはリピート品の売上構成比が高かったことや前期からの生産効率向上の取組み等が利益率を押し上げました。

この結果、売上高は12,080百万円（前年同期比72.3%増）、セグメント利益は2,414百万円（前年同期比150.3%増）となりました。

装置事業

LCD検査装置は、中国向けが中心でしたが、全般的に厳しい環境が継続し受注・売上ともに低水準でした。半導体検査装置は、NANDメーカーの設備投資が活発化し、BISTテストの需要が堅調に推移しました。プローブユニットは、4K対応液晶テレビの需要増を受けて売上・利益ともに好調でした。

この結果、売上高は2,897百万円（前年同期比89.7%増）、セグメント利益は186百万円（前年同期は285百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,229百万円増加し、32,550百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加2,378百万円、受取手形及び売掛金の増加284百万円等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4百万円減少し、15,373百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,233百万円増加し、17,177百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1,231百万円等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ2,124百万円増加し、8,448百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は2,488百万円(前年同期は1,588百万円の支出)となりました。この主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,806百万円、減価償却費620百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用された資金は897百万円(前年同期は140百万円の支出)となりました。この主な内訳は、韓国子会社での土地購入等、有形固定資産の取得による支出674百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は282百万円(前年同期比60.7%増)となりました。この主な内訳は、ストックオプションの行使による収入656百万円、短期借入金と長期借入金の純返済額127百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月7日付けで公表しました平成26年9月期通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成26年5月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,423	9,801
受取手形及び売掛金	6,890	7,175
製品	366	409
仕掛品	2,017	1,990
原材料及び貯蔵品	582	677
その他	1,204	247
貸倒引当金	60	76
流動資産合計	18,425	20,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,146	4,084
機械装置及び運搬具（純額）	1,723	1,469
その他（純額）	2,038	2,772
有形固定資産合計	7,908	8,326
無形固定資産		
投資その他の資産	955	922
投資有価証券	1,703	2,716
その他	553	584
貸倒引当金	223	225
投資その他の資産合計	2,033	3,075
固定資産合計	10,896	12,324
資産合計	29,321	32,550
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,887	3,592
短期借入金	3,137	2,913
未払法人税等	146	247
賞与引当金	442	680
製品保証引当金	470	484
その他	1,373	2,036
流動負債合計	10,459	9,954
固定負債		
社債	90	60
長期借入金	2,885	3,000
退職給付引当金	1,221	1,311
その他	720	1,047
固定負債合計	4,918	5,419
負債合計	15,377	15,373

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,018	5,018
資本剰余金	5,769	6,094
利益剰余金	2,364	3,596
自己株式	953	468
株主資本合計	12,199	14,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	841	1,499
為替換算調整勘定	58	259
その他の包括利益累計額合計	782	1,759
新株予約権	217	71
少数株主持分	744	1,107
純資産合計	13,943	17,177
負債純資産合計	29,321	32,550

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	8,539	14,978
売上原価	5,833	9,708
売上総利益	2,705	5,269
販売費及び一般管理費	2,732	3,575
営業利益又は営業損失()	26	1,693
営業外収益		
受取利息	2	8
受取配当金	1	2
受取賃貸料	25	24
為替差益	39	132
その他	14	3
営業外収益合計	82	170
営業外費用		
支払利息	46	43
その他	23	17
営業外費用合計	69	60
経常利益又は経常損失()	13	1,804
特別利益		
新株予約権戻入益	30	7
その他	2	0
特別利益合計	33	8
特別損失		
固定資産売却損	4	0
固定資産除却損	0	6
特別損失合計	4	6
税金等調整前四半期純利益	14	1,806
法人税、住民税及び事業税	31	194
法人税等調整額	8	19
法人税等合計	39	174
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	24	1,631
少数株主利益	6	210
四半期純利益又は四半期純損失()	30	1,421

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	24	1,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	272	658
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	380	427
その他の包括利益合計	652	1,086
四半期包括利益	628	2,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	540	2,398
少数株主に係る四半期包括利益	87	319

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14	1,806
減価償却費	721	620
退職給付引当金の増減額(は減少)	112	81
賞与引当金の増減額(は減少)	18	236
製品保証引当金の増減額(は減少)	128	2
貸倒引当金の増減額(は減少)	28	15
受取利息及び受取配当金	4	11
支払利息	46	43
新株予約権戻入益	30	7
売上債権の増減額(は増加)	1,524	147
たな卸資産の増減額(は増加)	360	11
仕入債務の増減額(は減少)	1,429	1,556
未払金の増減額(は減少)	1,452	63
その他	1,304	1,638
小計	1,560	2,646
利息及び配当金の受取額	4	11
利息の支払額	46	43
法人税等の支払額	53	125
法人税等の還付額	68	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,588	2,488
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	242
定期預金の払戻による収入	54	-
有形固定資産の取得による支出	164	674
有形固定資産の売却による収入	8	2
投資有価証券の取得による支出	30	-
その他の支出	67	4
その他の収入	58	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	140	897
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,481	868
短期借入金の返済による支出	1,762	1,064
長期借入れによる収入	2,040	1,300
長期借入金の返済による支出	1,562	1,232
社債の償還による支出	30	30
設備関係割賦債務の返済による支出	62	61
自己株式の取得による支出	0	6
少数株主からの払込みによる収入	91	42
配当金の支払額	-	189
少数株主への配当金の支払額	20	-
ストックオプションの行使による収入	-	656
財務活動によるキャッシュ・フロー	175	282
現金及び現金同等物に係る換算差額	184	251
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,368	2,124
現金及び現金同等物の期首残高	6,569	6,323
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,200	8,448

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2.
	プローブ カード事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,011	1,527	8,539	-	8,539
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,011	1,527	8,539	-	8,539
セグメント利益又は損失 ()	964	285	679	705	26

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 705百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない
管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2.
	プローブ カード事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,080	2,897	14,978	-	14,978
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	12,080	2,897	14,978	-	14,978
セグメント利益	2,414	186	2,601	907	1,693

(注)1. セグメント利益の調整額 907百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門
等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。